



大野小学校  
学校だより  
No. 6  
文責 前田

### 令和元年度後期スタートしました。

令和元年度も折り返しを過ぎました。早いもので、今の学年も残り5ヶ月ほどになります。節目で一度立ち止まって自分を見つめ直すことで、新たな一歩が踏み出せます。

ちようど、この時期に日本人や日本チームの活躍が脚光を浴びていました。ラグビーでは、強豪を次々と破りベスト8まで進出、バレーボールでも何年も勝てなかった相手に勝利するなど、体格差で大きなハンディがあるにもかかわらず、諦めないで立ち向かっていった姿がありました。さらに、ノーベル化学賞でも日本人の吉野彰さんが受賞されました。このような快挙を支えたのは何かを見つめて、自分の生き方に取り入れてほしいと思います。目標を達成するた



めには、「目標を立てる」↓「やってみる」↓「やり続ける」↓「壁にぶつかる」↓「あきらめない」↓「目標達成」という過程があります。この中で、あきらめないことの大切さを話しました。特に、吉野さんのインタビューでは「なんとかなる」という信念であきらめなかったことが、成功へとつながったそうです。やっていると壁に必ずぶつかるものです。粘り強く取り組んで、乗り越えていけるたくましさを、子どもたちに身につけてほしいと願っています。学校と家庭と協力して、取り組んでいきたいと思います。

### 思わず引き込まれました。

#### 谷桃子バレエ団公演

十月三日には、文化芸術事業の一環で谷桃子バレエ団の公演を鑑賞しました。バレエを生で見たことがある人はほとんどない状態です、子どもたちには難しいかなあと



心配していました。しかし、話が進むにつれて、子どもたちの目が釘付けとなり、終わり頃は誰もおしゃべりせず食い入るように見ていました。本物の底力を改めて感じました。生で、しかもこれだけ近くで、見ることでできて感動の一時でした。

### 毎週あってもいいです。

#### ノーマメディアデー

岱明町小中一貫教育の健康づくり部会でノーマメディアデーを提案し、9月16日に実施しました。これは、学校の定期考査前日に合わせ、家族みんなでテレビやメディアを控え勉強に集中しやすい環境をつくること为目标でした。中学生にとっては、試験勉強をしようとしても、テレビがついているとつい見えてしまうという状況がありますので、家族の協力があると助かります。そして、家族のふれあう時間も多くなります。ゲーム等は、子どもにとつてすごく魅力的なものだけに、やりすぎて体調を崩すだけでなく、言葉遣いが攻撃的になったり自分を律することができなくなったりすることが多いです。依存症になると、先生や親の言うことを聞けなくなります。そこで、メディアとの付き合い方を見つめ直す機会として設けました。うれしい声も届きましたので、紹介します。

「ゲームがなくても楽しかったです。」

「毎週あってもいいです。」

「ちよつとつらかったけど、楽しかったです。」

十一月にも、実施する予定ですので、ご協力お願いします。